

令和8年度第1回医療と介護の栄養情報連携連絡会議 取組結果報告

【本連携会議の概要】

目的 地域在宅療養者、施設入所者のQOL向上

- 目標 ①管内・近隣の病院・施設が摂食嚥下早見表を作成する。
②医療と介護の栄養情報連携に向けた体制を多職種で醸成する。
③MCSを活用する事で「多職種連携」や「相談しやすい環境」を維持する。

日時 令和8年7月8日(水) 14時から16時 会場 鴻巣保健所 大会議室

内容

「令和8年度診療報酬改定について」

「令和8年度介護報酬改定について」

グループディスカッション

○「摂食・嚥下に係る早見表がある施設を増やすためには」

○施設の「食事形態一覧」や「摂食調整食学会分類」を知る多職種の増加

○MCSの活用について

進行協力・総評:ワーキンググループメンバー

【「多職種との栄養連携に向けた現況」アンケートの御礼】

御回答いただきました皆様に感謝いたします。結果概要は、HPを確認ください。

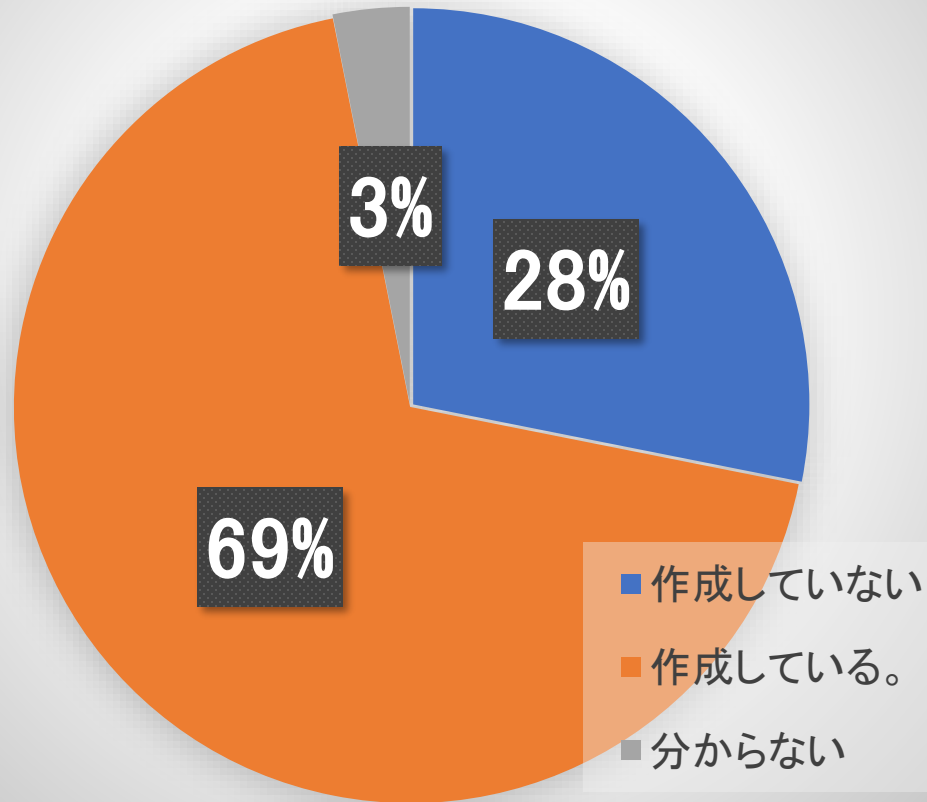
更なる栄養情報の多職種周知の必要性が示唆される結果となりました。



連絡会議参加申込施設の現状について

施設の摂食・嚥下調整食の分類について一覧表等を作成していますか？

N=32施設



「作成していない」方へ 貴施設では食形態の調整を行っていますか？

一覧表の作成は行っていないが、食事指示（医師・介護職員等）のオーダーに基づき、きざみ・液体のトロミ剤を使用した個別対応は実施している。 14施設

作成しています 14施設

作成しているが、見直しをしたい 1施設

作成して食形態の調整を行っている。 1施設

食形態早見表を作成している 1施設

不明 1施設

情報交換のテーマに係る御質問

- 各施設で栄養情報は上手いっていませんか？
- 多職種連携もだが、給食委託会社の理解がないと適切な形態の食事が提供できない。コスト面のこともあり難しい。

情報提供者への御質問

- 病院・医療関係の方に、特養等の施設から入院した方の食事形態はどのようにして決めていらっしゃるのか教えていただきたいです。(年齢である程度決めておられるのかなど)

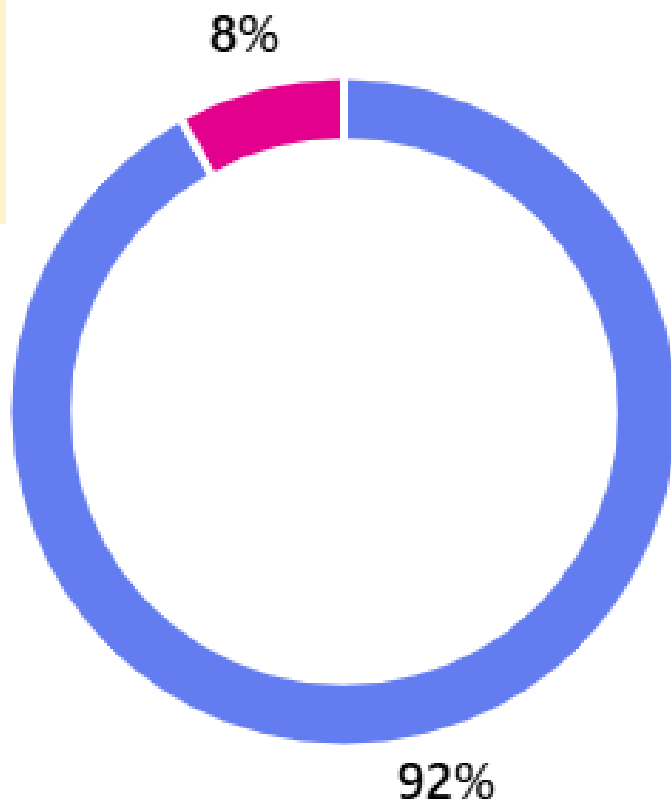


第1回医療と介護の栄養情報連携のための 連絡会議 参加者アンケート結果① R8.7.8

参加者数 30施設 41名 アンケート回答者数 37名 回答率 90.2% Forms使用

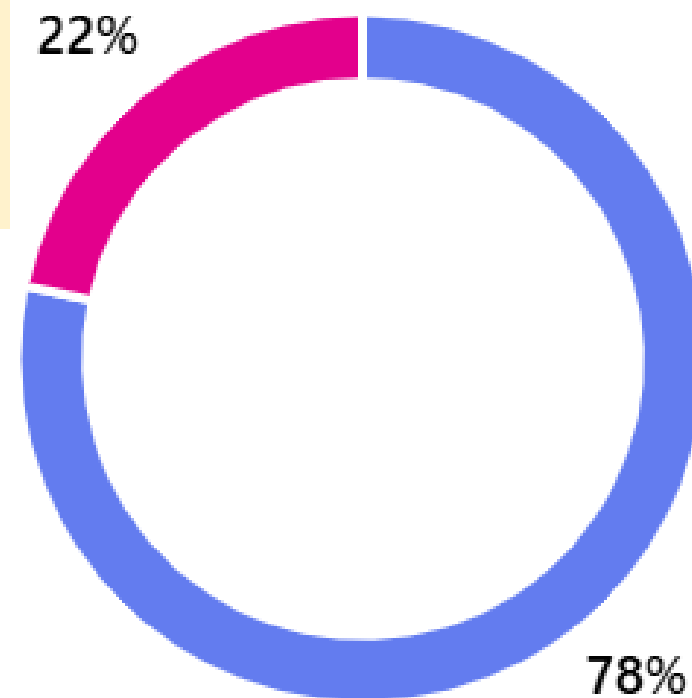
情報提供内容
は参考になりましたか？

- 参考になった 34
- 少し参考になった 3
- どちらでもない 0
- あまり参考にならなかった 0
- 参考にならなかった 0



情報提供内容
は今後の業務
に活かせると思
いますか？

- 思う 29
- 少し思う 8
- どちらでもない 0
- あまり思わない 0
- 思わない 0



第1回医療と介護の栄養情報連携のための連絡 会議 参加者アンケート結果（自由記述） R8.7.8

- 嚥下調整食の加算がとれるよう今後研修などが、保健所でもやっていただけるようになると助かります。
- 嚥下食など理解が難しかった部分について知ることができた。他施設での取り組み、意見が聞けてとても勉強になった。
- 施設側から見た病院に求める情報提供の内容について知ること、コードの広まりなどについて共有する良い機会となった。
- 看護師への情報提供を考えていこうと思いました。
- 病院との違い、早見表を相談員や看護師に渡すなどの活用方法を知る事ができました。
- コード分類がわかりにくいので、調理実習も兼ねて詳しく教えてほしいです。
- 嚥下調整食の他職種への普及は難しいだろうと積極的にしていくつもりはありませんでしたが、普及はままならずともみなさんいろいろな事をやっていることがわかったのでできる範囲で少しずつでも意識付けできるように考えてみようと思いました。